

**收賄有
7000
万
用忍
走、
起訴**

秋本議員給付金詐取罪でも

政府の洋上風力発電事業をめぐって衆院議員の秋本真利容疑者(48)=自民党を離党=が逮捕された汚職事件で、東京地検特捜部が、賄賂額を逮捕段階から1千万円ほど増やして計約7千万円と認定し、勾留期限の27日に受託收賄罪で起訴する方針であることが、関係者への取材でわかった。新型コロナウイルス対策の持続化給付金を約200万円不正に受給したという詐欺罪でも、あわせて起訴する方針だ。

風力側から国会質問書面



西醫臨牀醫學

議員会館の事務所で書面で提供したり、メールでやり取りしたりしたことでも新たに判明した。

う。特捜部は、秋本議員が不正受給を主導し、利益は全て議員が得たとみて、詐欺罪の適用を決めたとみられる。

る評価基準を事業計画の迅速性重視に変更してほしいとも求めたという。口口ナ給付金をめぐつては、秋本議員と親しい千葉県議が代表を務める再エネ関連会社について、売り上げが減ったと虚偽の申請をし、国から約2000万円の給付金を詐取した疑いがあるとい

汚職事件では、「日本風力開発」(東京)の塙脇正幸前社長(64)を、贈賄罪で27日に在宅起訴するところられる。

社の参入に有利な国会質問をしてほしいと塚脇氏から依頼され、謝礼として23年までに、趣味の競走馬をめぐる経費として

もあり、特捜部はその後の捜査で、さらに1千万円ほどが国金賣問の見返りと評価できると判断。賄賂額を総額約7千万円

具体的には、同社が参入を目指す青森県沖が事業の対象区域に指定されるにあたり、防衛省の施設の存在が障害にならな

特搜部は今月7日に秋本議員を逮捕。再エネ海域利用法に基づく洋上風力発電事業について、2019年22年に数回、同

計約6146万円の賄賂を受け取つたといふ説が最も取締容疑だった。

に増やして起訴する方針を固めたといふ。

いより要望。海域」として公募する事業者選定をめぐり、既に実施された公募内容の速やかな情報開示や、売電価格を重く見

卷之三